

CASBEE埼玉県

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-評価(新編)2014年版、CASBEE埼玉県2015年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ベシア深谷荒川店新築工事	階数	地上1F
建設地	深谷市荒川字新井 1048-1の一部	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	900人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,800時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2018年4月25日
敷地面積	12,065 m ²	作成者	牛山 義夫
建築面積	7,145 m ²	確認日	2018年4月25日
延床面積	6,935 m ²	確認者	松本 仁



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.1

★:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物の外観及び高さは、周辺環境及び景観に配慮し計画しました。LED照明器具を積極的に採用することで、省エネに努めました。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材F☆☆☆☆等級品を使用し、室内環境の向上に配慮しています。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>売場の天井高さを3.99mとし、開放感を得やすい構造にしています。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>可能な限り緑地を設ける計画をしています。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明器具及び高効率機器を採用し、省エネに努めています。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水機能のある衛生機器を採用し、節水に努めています。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺状況に配慮し、圧迫感を与えないよう建物高さを極力抑え、全面に駐車場を配置した計画をしています。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版、CASBEE埼玉県2015年版
 ペイシア深谷荒川店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版、CASBEE埼玉県2015年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
2.6 0.15 - - 2.6								
1.1 騒音 3.0 0.40 - -								
1.2 遮音 3.0 0.40 - -								
1 開口部遮音性能 3.0 1.00 3.0 -								
2 界壁遮音性能 3.0 - 3.0 -								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源) 3.0 - 3.0 -								
4 界床遮音性能(重量衝撃源) 3.0 - 3.0 -								
1.3 吸音 1.0 0.20 3.0 -								
2 温熱環境								
2.8 0.35 - - 2.8								
2.1 室温制御 2.6 0.50 - -								
1 室温 3.0 0.50 3.0 -								
2 外皮性能 1.0 0.17 3.0 -								
3 ゾーン別制御性 3.0 0.33 - -								
2.2 湿度制御 3.0 0.20 3.0 -								
2.3 空調方式 3.0 0.30 3.0 -								
3 光・視環境								
3.0 0.25 - - 3.0								
3.1 昼光利用 3.0 0.50 - -								
1 昼光率 3.0 - 3.0 -								
2 方位別開口 - - 3.0 -								
3 昼光利用設備 3.0 1.00 3.0 -								
3.2 グレア対策 - - - -								
1 昼光制御 3.0 - 3.0 -								
3.3 照度 3.0 - 3.0 -								
3.4 照明制御 3.0 0.50 3.0 -								
4 空気質環境								
3.5 0.25 - - 3.5								
4.1 発生源対策 4.0 0.50 - -								
1 化学汚染物質 F☆☆☆☆の建材を全面的に採用している。 4.0 1.00 3.0 -								
2 アスベスト対策 - - - -								
4.2 換気 3.0 0.30 - -								
1 換気量 3.0 0.50 3.0 -								
2 自然換気性能 3.0 - 3.0 -								
3 取り入れ外気への配慮 3.0 0.50 3.0 -								
4.3 運用管理 3.0 0.20 - -								
1 CO ₂ の監視 1.0 0.50 - -								
2 喫煙の制御 喫煙室を設け、非喫煙者が煙に曝されないように対策している。 5.0 0.50 - -								
Q2 サービス性能								
1 機能性								
- 0.30 - - 3.5								
3.8 0.40 - - 3.8								
1.1 機能性・使いやすさ 3.0 0.40 - -								
1 広さ・収納性 3.0 - 3.0 -								
2 高度情報通信設備対応 3.0 - 3.0 -								
3 バリアフリー計画 3.0 1.00 - -								
1.2 心理性・快適性 4.3 0.30 - -								
1 広さ感・景観 売場の天井高さは3.99m。 5.0 0.33 3.0 -								
2 リフレッシュスペース レストスペース比率4.09%。 5.0 0.33 - -								
3 内装計画 3.0 0.33 - -								
1.3 維持管理 4.5 0.30 - -								
1 維持管理に配慮した設計 使用頻度の高い部分を重点的に、防汚性の高い仕上材を採用。 5.0 0.50 - -								
2 維持管理用機能の確保 清掃時用の適度な照度の設定が可能 4.0 0.50 - -								
3 衛生管理業務 - - - -								
2 耐用性・信頼性								
3.0 0.30 - - 3.0								
2.1 耐震・免震 3.0 0.50 - -								
1 耐震性 -3.0 0.80 - -								
2 免震・制振性能 3.0 0.20 - -								
2.2 部品・部材の耐用年数 3.1 0.30 - -								
1 躯体材料の耐用年数 3.0 0.20 - -								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3.0 0.20 - -								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3.0 0.10 - -								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 屋外露出ダクトにはガルバリウム鋼板を採用している。 4.0 0.10 - -								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔 3.0 0.20 - -								
6 主要設備機器の更新必要間隔 3.0 0.20 - -								

2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	ネットワーク機器用に無停電装置を設置している。	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性		3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり	階高5.35m	5.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.06	5.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEIm 非住宅 0.74 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED照明器具を採用している。	4.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-	-
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型便器を採用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生砕石、ビニル床材	4.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	外壁をALCとし、解体時の分別に配慮した。	4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤について含有しないものを採用。	4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤等を用いた断熱材は使用していない。	5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮		2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースを確保している。	5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制	室内外にゴミの多種分別可能なストックスペースを計画している。	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1 騒音		3.0	0.33	-	-	-
2 振動		3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-

CASBEE埼玉県 重点項目シート











■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2015年版

1 建物概要

建物名称	ベイシア深谷荒川店新築工事	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.9	+	1.3	=	5.2 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
<配慮した内容を記述> オール電化やLED照明器具を採用した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> 敷地内に緑地を可能な限り配置する計画とした。			

 : 入力欄